

吉川市民まつり 環境ネットワークよしかわ (平成 22 年 11 月 21 日 開催)
今年のテーマは「雑がみ救出大作戦」と銘打って、エコ活動を展開しました。

11/15(月)東部環境センター内にて、秘密裏に集合した「いきカエル」君とその仲間一行は、市民まつりで「雑がみを捨てないで、資源として集めてくれる」方々を増やすために、「雑がみ分別クイズ」に参加してくれた皆さんに、ティッシュを配布すべく準備をしたのでした。



シンボルマークの「いきカエル」君



特命を帯びた「ティッシュ」たち



黙々と任務を遂行する面々



資源になる雑がみが、ゴミとして棄てられることを憂いながら資料を作成する



市民まつり当日の「雑がみ分別クイズ」のテーブルです。

第15回 吉川市民まつり 平成22年11月21日(日)

好天に恵まれて・・・という程の青空ではありませんでしたが、曇り空のもと、第15回 吉川市民まつりが開催されました。



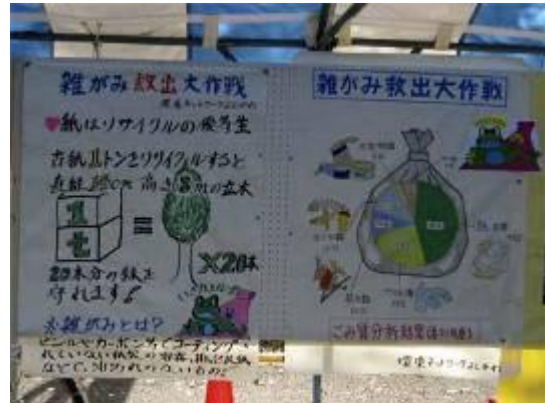
市役所作成の「環境ネットワークよしかわ」のぼり



「環境ネットワークよしかわ」のパネル



「環境ネットワーク埼玉」のパネル



「雑がみ救出大作戦」のパネル



「ごみをみつける会」のパネル



「生活クラブ」のパネル

好天に恵まれて・・・という程の青空ではありませんでしたが、曇り空のもと、第15回 吉川市民まつりが開催されました。



「吉川マイバックの会」のパネル



「エコ吉川」のパネル



「(財)埼玉生態系保護協会 吉川支部」のパネル



「野鳥観察の望遠鏡」とテント全景(上手)



「雑がみ分別クイズ」とテント全景(下手)



「野鳥観察の望遠鏡」を覗き込む市民

「持てるかなカバン(二酸化炭素を一番出している国はどこだ)」クイズで、日本・アメリカ・中国の3ヶ国で国民1人(1日)あたりの「二酸化炭素の排出量」を手提げ袋に入れて体感してもらいました。因みに、国民一人あたりの重量は、日本は約25Kg、アメリカは約50Kg、日本は約12Kgです。

しかしながら、国別の「二酸化炭素排出量」は、中国が地球全体の20%超で1位、アメリカが僅差の20%で2位となっています。



予想以上に重たい(「二酸化炭素」を排出している)ことに驚く市民の皆さん

「雑がみ救出大作戦」の「雑がみ分別クイズ」

「雑がみ」分別の基本は「ビニールが張られていない小さな紙片」といったところでしょうか。

「新聞紙」「雑誌」「牛乳パック」といった決められた紙以外のものでも、「紙は100%リサイクル可能な資源」ですので、回収した後にリサイクルしやすい様に分別をするということを実施して頂きたいと思います。

「これからの皆様のご協力が青い地球の継続に間違いなく役立つにちがいありません。」



「分別方法」の解説を聞く市民の方々



親子や兄弟でチャレンジ、意外と子どもの方が「分別ルール」を知っているかも！?